

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	マルチパラメトリックMRIを用いた糖尿病患者の膵イメージングに関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2026年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科で3テスラMRI装置のVantage Centurian (Canon Medical Systems)を用いて、膵臓のマルチパラメトリックイメージングを含む腹部MRI検査を受けられた患者さん (MRI検査時の年齢が40歳以上かつ75歳以下で、BMIが16kg/m ² 以上かつ37kg/m ² 以下の方)		
④ 対象期間	2021年1月1日から2023年8月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第3内科、放射線科、第1内科、第1外科、第2外科		
⑦ 研究責任者	氏名	東 麻由美	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、現病歴、糖尿病の家族歴、生活歴、HbA1c、空腹時血糖 MRI画像所見：膵頭・体・尾部の前後径、膵臓や傍脊椎筋のT1値や信号値、みかけの拡散係数 (apparent diffusion coefficient: ADC)、脂肪含有率、選択的IRパルス併用 cine-dynamic MRCPの膵液の排出回数と移動距離		
⑨ 研究の概要	糖尿病の患者数は生活習慣病の増加を背景に急速に増加しています。糖尿病は一度発症すると治癒することはなく、進行すると腎不全や心血管疾患などの重篤な合併症を引き起こすことから、長期間の経過観察や適切なタイミングでの治療介入が重要となります。現在、糖尿病の診断や経過観察には血液検査が主に使用されていますが、血液検査所見単独で糖尿病の様々な病態における膵臓の病理組織学的変化を十分に反映しているとは言い難いです。近年、CTやMRIなどの画像を用いて、糖尿病患者さんの膵臓を評価する試みが行われています。特にMRIでは、膵臓の内外分泌機能や病理組織学的変化を反映する様々な撮像法があり、糖尿病患者さんにおける膵臓の萎縮などの形態変化のみならず、膵臓内に生じる脂肪沈着や線維化などの様々な組織学的変化を含めて、客観的に膵臓全体を評価できる可能性があります。しかし、糖尿病患者さんにおける膵臓のM		

	<p>RI画像所見はまだ十分には検討されておらず、臨床応用は未だに進んでいません。</p> <p>本研究の目的は、当院の日常診療で撮像されたマルチパラメトリックMRIを用いて、糖尿病患者さんの膵臓のMRI画像を評価・解析し、非糖尿病患者の膵臓の画像所見と比較することで、糖尿病患者に特徴的なMRI画像所見を検討することです。MRI画像により、糖尿病患者さんの膵臓の様々な病理組織学的変化や膵内外分泌機能低下を確認することが可能になることで、糖尿病の病態のさらなる理解につながるとともに、将来的に糖尿病の診断やモニタリングの向上にも役立つことが期待されます。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2023年 11月 2日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：東 麻由美		
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285